学校法人ISI学園　専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2022年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	プレゼンテーションⅡ		（TCR201）
講義名（コード）	TCR_プレゼンテーションII_D		（TCR201D）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	酒井　京子	時間数	30
成績評価教員	酒井　京子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	１つのテーマに沿った文章を読み、深く理解し、他者と議論し、より深い理解につなげる。話す・書くなどの表現力を身につける。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件				
評価基準	知識（期末試験点） 60%		自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数		出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容	
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。	
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。	
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。	
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。	
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。	
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	比喩表現が多く使われた文章から主題を捉える力を身につける。	話す書く初中級13課　内容把握 面接ロールプレイ
2	１つのテーマについて短時間でたくさんの情報収集ができる。	話す書く初中級13課　発展 面接ロールプレイ
3	収集した情報を整理してわかりやすく発表することができる。	話す書く初中級13課　発表 面接ロールプレイ
4	テーマを読み取り筆者の考えを理解することができる。	話す書く　中級1課　内容把握 面接ロールプレイ
5	筆者の気持ちの変化をつかむことができる。	話す書く　中級1課　発展 面接ロールプレイ
6	テーマを自分の問題として考え話し合うことができる。	話す書く　中級1課　発表 面接ロールプレイ
7	誰がこんな経験をし、このようなことを述べているのかを把握できる。	話す書く　中級2課　内容把握 グループ発表
8	要旨をまとめ自分の言葉で説明することができる。	話す書く　中級2課　発展 グループ発表
9	自然科学に関する問題を他者と考え意見をまとめることができる。	話す書く　中級2課　発表 グループ発表
10	社会の様子や問題点を理解することができる。	話す書く　中級3課　内容把握 個人発表
11	キーワードやキーセンテンスを使って要旨をまとめる。	話す書く　中級3課　発展 個人発表
12	他者の意見を参考に自分の考えを述べることができる。	話す書く　中級3課　発表 個人発表
13		後期の復習
14	前期定期試験	
15	前期定期試験解説	

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	話す書く初中級、面接ワークブック
参考文献・資料等	
備考	シラバスの内容は順番が前後することがあります。

比喩表現が多く使われた文章から主題を捉える力を身につける。
１つのテーマについて短時間でたくさんの情報収集ができる。
収集した情報を整理してわかりやすく発表することができる。
段落ごとに何が書かれているのか把握できるようになる。
マインドマップを使って意見をまとめることができる。
ポイントを整理しながら自分の意見をまとめることができる。
理系分野の文章も意味を調べながらは把握することができる。
論理的な文章構成の型を使って作文を書くことができる。
論理的に自分の意見を話すことができる。
比喩表現が多く使われた文章から主題を捉える力を身につける。
１つのテーマについて短時間でたくさんの情報収集ができる。
収集した情報を整理してわかりやすく発表することができる。